

☆ 世 界

**繊維景況**

**世界の糸・生地生産が拡大--2015/Q2**

ITMF(国際繊維製品製造業者団体)はこのほど、2015年第2四半期の世界の糸・生地の生産動向についてまとめた。概要は以下の通り。

2015年第2四半期の世界の糸生産は、アジアおよび北米が牽引し、前期比13%増となった。地域別では、アジアで14%増、北米で5.6%増、欧州で2%増、南米で1.4%増であった。前年同期比では、世界全体で0.4%増となり、地域別では、アジアで0.7%増、北米で3%増、欧州で8.7%減、南米で1.4%減であった。

2015年第2四半期の世界の糸在庫は、前期比2%増であった。地域別では、欧州で2.2%減、南米で26%増であった。前年同期比では、世界全体で4%増となり、地域別では、南米で25.6%増、アジアで4.6%増、欧州で6%減であった。

2015年第2四半期の糸受注は、欧州において前期比3.5%増、前年同期比2%増であった。南米では前期比27%減、前年同期比47%減であった。

2015年第2四半期の世界の生地生産は、前期比9%増であった。地域別では、アジアで9%増、欧州で3.3%増、南米で2.6%増であった。アジアでは例年、旧正月の影響で第1四半期の生産量が減るため第2四半期が第1四半期を上回る傾向にある。前年同期比では、世界全体で2%減となり、地域別では、アジアで2.2%減、欧州で4.3%減、南米で7.3%減であった。

2015年第2四半期の世界の生地在庫は、前期比4.3%増であった。地域別では、アジアで0.3%増、南米で15.7%増であった。前年同期比では、世界全体で3.7%増となり、地域別では、アジアで0.4%増、欧州で4%増、南米で14%増、北米で0.7%減であった。

2015年第2四半期の生地受注は、欧州において前期比0.2%減、前年同期比4%増であった。南米では前期比3.8%増、前年同期比4%減であった。今後の見通しに関して、2015年第3四半期については、糸生産はアジアおよび北米で増加し欧米で横ばいの見通しで、生地生産はアジアで増加し欧州で横ばいとなる見通しである。2015年第4四半期の生地生産については、アジアおよび欧州で横ばいとなる見通しである。

## ☆ 中 国

### 繊維輸出 繊維品輸出減少続く---2015年1~10月

中国の繊維品輸出は2015年に入り減少傾向が続いている。以下は2015年1~10月の状況をまとめたもの。

#### 中国の繊維品輸出

(100万ドル、%)

	2015年10月	2015年1-10月	前年同期比
繊維品	9,209	91,060	-1.9
衣類等二次製品	14,445	143,917	-7.5
繊維製品計	23,654	234,976	-5.4

2015年10月の中国の繊維アパレル輸出額は236.54億ドル、前年同月比10.87%減、2015年は、3月以降8か月連続の前年実績割れとなった。そのうち、10月の繊維品の輸出額は92.09億ドル、前年同月比5.52%減となった。10月の衣類等二次製品の輸出額は前年同月比13.97%減の144.45億ドル、前の月のマイナス8.5%成長と比べて5.47ポイント拡大し、2014年10月の輸出額167.91億ドル、8.19%の成長と比べると、下げ幅は22.16%となっている。

2015年1~10月の中国の繊維品輸出は前年同月比5.41%減の2,349.76億ドルとなった。2015年1~9月の落ち込み幅(4.75%減)からさらに減少幅は拡大、前年同期(2014年1-10月)の6.38%増から11ポイント以上の落ち込みとなっている。そのうち、繊維品の輸出額は前年同期比1.91%減の910.60億ドル、衣類等二次製品輸出額は前年同期比7.49%減の1,439.17億ドルとなった。

繊維品輸出の減少傾向をみると、衣類等二次製品の輸出が大幅に落ち込んでいることがわかる。衣類業界は、労働集約型産業の代表であるが、中国の衣類生産は広東省、江蘇省、福建省、浙江省、山東省などの沿海部の5省の合計は75%近くを占め、これらの地域と、ベトナム、カンボジア、バングラデッシュ、ミャンマーなど東南アジア諸国を比較すると、電力、人件費、その他コストの比較優位性は大きく失われており、特に、中低品質のアパレル生産では顕著である。

2015年の繊維品輸出は引き続き低迷しており、2015年間でも、この下落傾向が継続する見通しである。